

生活関連商業部会 議員・部会役員アンケート結果 概要

(対象件数：178件、回答数：52件、回答率：29.2%)

問1.インボイス制度の理解度について、当てはまるものは次のうちどれですか。

No	選択肢	回答数
1	大体知っている	23
2	少し知っている	21
3	良く知っている	7
4	知らない	1

問2.貴社のインボイス制度の対応準備状況について、当てはまるものは次のうちどれですか。

No	選択肢	回答数
1	既にインボイス発行事業者登録申請を行った	16
2	これから対応準備をする	9
3	まだ準備を行っていない	0

問3.インボイス制度に関するセミナー・相談会があれば参加したいですか

No	選択肢	回答数
1	どちらでもない	26
2	参加したい	17
3	参加したくない	10

問4.自社の業務でデジタル化を行ったものについてお聞かせください（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	顧客管理	32
2	情報共有	24
3	勤怠管理	17
4	導入していない	14
5	文書の電子化	12
6	社内稟議・決裁	6
7	その他	3

問5.カーボンニュートラルに向けた、貴社の取り組みについて当てはまるものをお選びください。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	省エネの推進	20
2	高効率照明（LED）への転換	20
3	特に取り組んでいない	17
4	エコカーの導入	4
5	自然由来エネルギーへの転換	3
6	その他	3

問6.人材確保のために業界が取り組むべき最重要課題は何であると思われますか。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	賃金改善	29
2	働き方改革の推進	27
3	女性活用	19
4	業界PR	16
5	外国人材活用	7
6	その他	2

問7.人材確保のためには、どのような取り組みが効果的であるとお考えですか。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	現場（職場）見学	25
2	学校への募集活動	22
3	就職支援サイトへの登録	18
4	SNSによる企業告知	16
5	合同企業説明会への参加	10
6	その他	8

問8.コロナ前と比較して、貴社の顧客に変化を感じますか。

No	選択肢	回答数
1	とても感じる	18
2	どちらともいえない	17
3	やや感じる	16
4	あまり感じない	1

問9.【問8で「とても感じる」「やや感じる」と回答した方】

具体的にどのような変化を感じましたか。

<記載欄>

- ・コロナ禍で外出する機会が減り、その期間が長引くにつれて生活スタイル自体が変化してきている。
- ・積極的な商品開発が行われにくくなり、新たな取り組みに消極的になった。
- ・リモートワークの推進により自宅で過ごされる方が増えた影響か、対ヒトの接点を減らしたいと考える方が増えていると感じる。
- ・消費量が減っているので節約志向がより強まっているのではないかと思う。
- ・商店街の人流が戻っておらず、構成する各個店の低下した売上等の回復に至っていない
- ・感染拡大防止目的により顧客との接触機会が減り受注が取りづらい。
- ・コロナが収束しても、以前の様な行動（会合、パーティ、冠婚葬祭）には完全に戻らず簡素化する傾向があり、職場でもテレワークが常態化して対面での行動は減ったままになるのではないかと思う。
- ・香りで落ち着きたいという新規でお香を始めた方のご来店が増えた。（家具・インテリア）
- ・出荷量の増減（花き）
- ・訪問理美容が主たる事業のため、コロナの影響をもろに受けている。（理美容）
- ・費用対効果について、よりシビアになっている（理美容）
- ・従来よりの顧客の方々の、来店頻度が低下している。（理美容）

問10.経済動向・消費者動向に関する情報提供事業があれば参加したいですか。

No	選択肢	回答数
1	どちらでもない	34
2	参加したい	15
3	参加したくない	3

問11.次の中で、貴社の関心が最も高い事項についてお選びください。

No	選択肢	回答数
1	生産性向上	11
2	デジタル改革（DX推進）	10
3	事業継続力強化計画やBCP（事業継続計画）	10
4	事業承継	6
5	事業再構築・事業転換	5
6	働き方改革	4
7	SDG s・脱炭素	3
8	その他	2

問12.問11で回答した関心事項について、具体的にご記入ください。

<記載欄>

- ・顧客データ、業務時間管理におけるデジタル化
- ・紙の書類を減らしたい
- ・脱炭素化の為の改修工事を等を行っている建設会社や工務店との取引を行っていききたい。
- ・社員1人1人の個性を最大限活かし、生産性をあげ効率的な業務改善を行い、休日を増やしたりしていきたい。
- ・新人育成、教育についてのノウハウが中堅社員に足りないため、人員の確保が進んでも脂肪太りになる可能性を感じる。
- ・人材育成のノウハウなどを勉強したい
- ・事業の引き継ぎが上手くいくか心配。
- ・新規ビジネスモデル構築についての考え方を学びたい
- ・他社との連携を通じて商品の開発や販売チャンネルを広げたい
- ・他社との共同事業運営により、人材確保と強い経営戦略を確立したい
- ・自社の事業や得意分野を応用して新たな事業を始める。
- ・商店街における人流が戻っていないため、賑わい創出や円安によるコスト高吸収の方策等

問13.当所の事業についてどのように情報を受け取られていますか。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	さっぽろ経済	28
2	ホームページ	11
3	インスタグラム	2
4	その他	1

(その他)・機関紙、国の専門誌

問14.業界として、今後当所と連携して実施したい事業・企画がございましたら、ご記入ください。

<記載欄>

- ・企業訪問、職場見学、工場見学などの視察（繊維・衣料）
- ・道産品の海外への進出するために、PRとノウハウの企画など（家具・インテリア）
- ・フラワーアレンジや花育体験（花き）
- ・企業の福利厚生などで（メンタルヘルス、職場環境の改善など）花や植物の活用方法など（花き）
- ・人の手によってでしか出来ない仕事・サービス・商品を紹介していくツールになるような企画（クリーニング）
- ・補助金、助成金の申請に関するアドバイス
- ・高齢層（40から50代）対象の異業種交流会
- ・他の業界とタイアップして、消費動向を促進し業界イメージを向上させたい。
- ・ホテルでの定期的なファスティングツアー

問15.当部会における分科会間の交流・連携について、興味のある分科会がございましたら選択してください。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	家具・インテリア	13
2	百貨店・スーパー	13
3	繊維・衣料	11
4	理美容	10
5	寝具・装飾	6
6	花き	6
7	燃料	5
8	クリーニング	5
9	書籍・文房具	4
10	家庭用電気製品	3
11	時計・貴金属・眼鏡	3

問16.【問15】で回答した分科会との交流・連携の希望について、実施したい企画があれば選択してください。

No	選択肢	回答数
1	情報・意見交換会の開催（オンライン開催を含む）	20
2	商談会・イベントの開催	10
3	視察会の実施	9
4	従業員間交流事業等の実施	8

問17.その他、当所の活動に関するご意見・ご要望・ご提案など忌憚なくご記入ください。

<記載欄>

- ・セミナーだけではなく、具体的なサポートを提供していただきたい。
- ・他の分科会の皆さんが未来に対してどういった考え、取り組みをおこなっているのかが知りたい。